

「ワクワクする企業創り」

～EMEの取り組み～

「ワクワクする企業創り」とは？

あなたは「ワクワクする企業」を目指しますか。

「ワクワクする企業創り」とは、EMEが追い求める“ワクワクする企業のあるべき姿”と、「ワクワクする企業」を目指すあなたへの“EME支援ポリシー”を整理したものです。

あなたも、EMEと一緒に「ワクワクする企業創り」に挑戦しませんか

EMEの支援姿勢

EMEの支援姿勢は、「企業が潜在的に持っている、成長に向けた“自然治癒力”を活用して、企業の変革を支援すること」にあります。

EMEは、「変革プロジェクトの推進支援」「変革プログラムの実行支援」を通じて、“企業の学習能力”を高めます

EMEの、[企業における“自然治癒力＝問題解決能力”を引き出す]技術（ファシリティ技術）をご活用ください。

ローマは 1日にして成らず
“少しずつ常に変革”が重要です

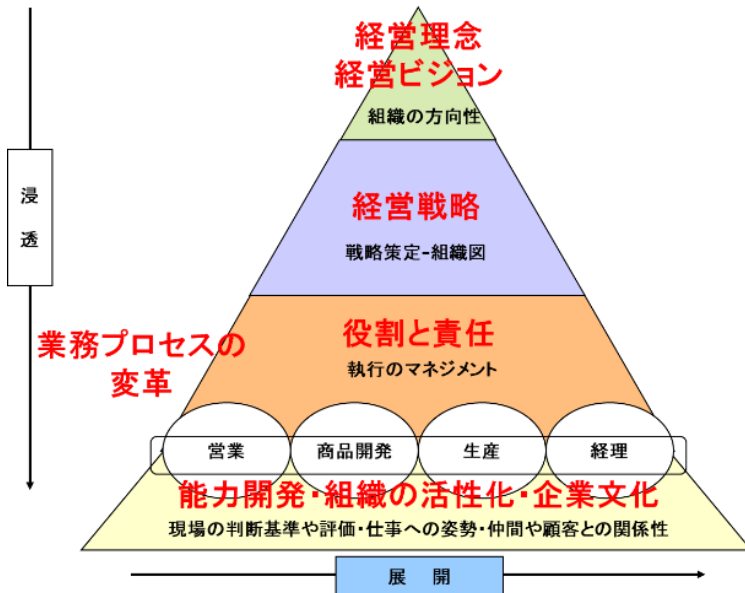
浸透と展開の一貫性

経営のフレームワークを考えると、EMEが、最も大切にしている考え方です。

“**浸透**”とは、経営者および経営幹部の考え・行動と一般社員の考え・行動が一致していること。

“**展開**”とは、企業の考え・行動に、部門間・社員間のバラツキがなく、全社で一致していること。

「**浸透と展開の一貫性**」があって、はじめて、「**全社一丸となってワクワクする企業創り**」ができるのです。

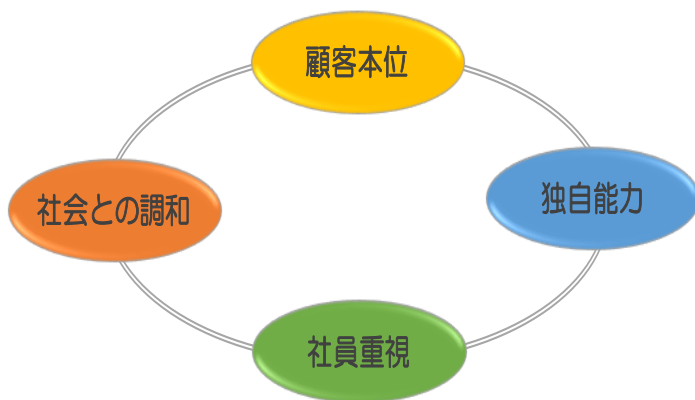


経営理念の構築

「浸透と展開の一貫性」を具現化するためには、企業の基軸となる「企業の存在意義」（何のために、我が社があるのか）が明確でなければなりません。

我々は、「企業の存在価値」を“経営理念”と定義して、「企業の有り様（考え方・姿勢）」を決めるものと考えています。

経営品質向上プログラム(注1)では、経営理念の方向性を“顧客本位”“独自能力”“社員重視”“社会との調和”と示しています。

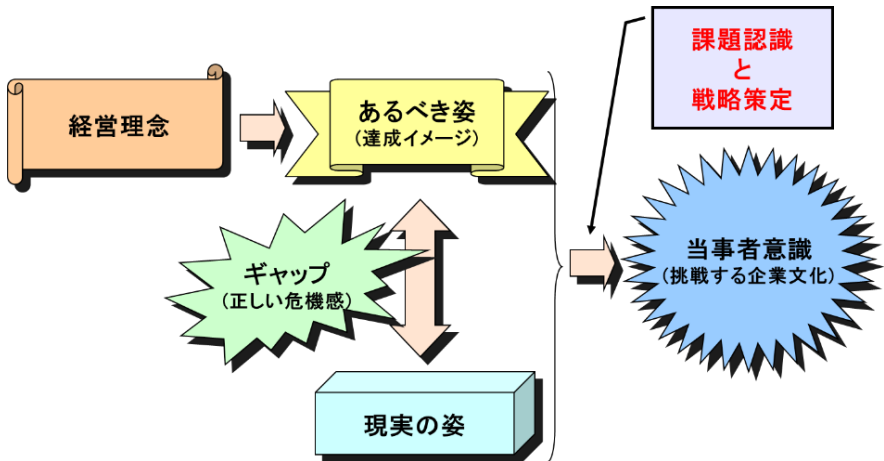


※(注1)経営品質向上プログラムとは
顧客・競争（独自性）・社員・社会のすべてにおいて、高い価値を作り出すために、「革新し続ける経営創り」を支援する一連のプログラムをいいます。

変革モデルの認識

企業の変革においては、“現実の姿”の客観的な分析と、経営理念から導かれる企業の“あるべき姿（経営ビジョン）”を描き、“現実の姿”とのギャップ認識から、“経営課題”を具現化する姿勢が重要です。

そして、経営課題を解決するために、“経営戦略”と“実行プログラム”が構築されていくのです。さらに、「全社一丸となってワクワクする企業創り」に取り組むためには、「浸透と展開の一貫性」の背景となる、社員自らが変革に取り組む“当事者意識の醸成”が欠かせません。

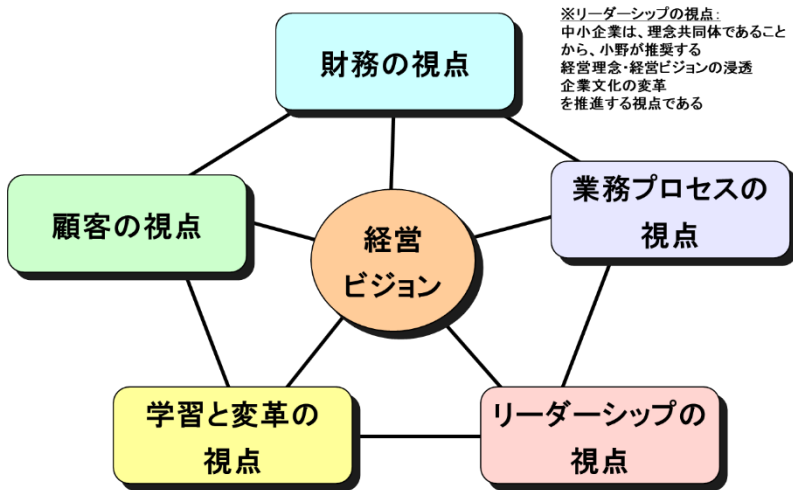


経営戦略モデルの活用

“経営課題”を抽出し、“経営戦略”を構築する視点として、「**バランス・スコアカード**」の考え方を活用することは非常に有効です。「バランス・スコアカード」とは、“**経営ビジョン**”を実現するために、“**財務的な視点**”に偏ることなく“**顧客との関係性の視点**” “**業務プロセス(独自能力を發揮する仕組)の視点**” “**人財および組織能力の視点**” から“**戦略課題**” “**経営戦略**”を明らかにする考え方です。

EMEでは、経営者のリーダーシップが、特に重要である“**中堅中小企業**の特性”を踏まえて、バランス・スコアカードの4つの視点に、“**リーダーシップ(理念・ビジョン・戦略の浸透)**”の視点を加えています。

バランス・スコアカードの4つの視点+リーダーシップの視点



変革に向けた企業の状態

“経営戦略”を構築して、“実行プログラム”を策定しても、積極的に取り組む企業とほとんど取り組まない企業があります。EMEでは、“変革に向けた企業の状態”を企業の「成熟度」と呼び、DレベルからAレベルであらわしています。

企業の「成熟度」を診断する軸となる視点を、①経営理念・経営ビジョンの浸透（トップのリーダーシップ）②顧客本位③独自能力④人材育成 と考え、さらに、4つの視点から、8つの要素を抽出して、「成熟度」の評価基準としています。

[レベル]	[定義]	[イメージ]
Aレベル	変革の方向性・取り組みが、全社で一致している	
Bレベル	変革に向けて、全体最適を思考しているが、部門・個人に温度差がある	
Cレベル	変革に向けての考え方や取り組みが部門最適・部分最適となっている	
Dレベル	変革に対する問題意識がない	

Dレベルの企業が、一朝一夕でAレベルの企業にはなりません。一つ上のレベルを“あるべき姿”としてとらえて、一歩ずつレベルアップすることが重要と考えています。

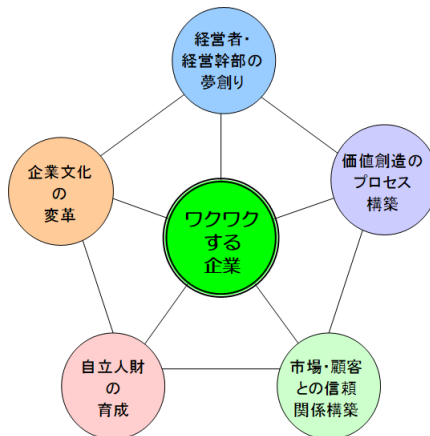
4つの視点	8つの要素
経営理念	経営者のリーダーシップ
経営ビジョンの浸透	社会に認められる経営理念 経営ビジョン・戦略目標の設定と実行プロセス
顧客本位	卓越した顧客価値の創造
独自能力	独自能力の構築と外部ネットワークの活用 日々変革する組織創り
人材育成	経営者及び未来を担う人創り 熱気のある企業文化の創造

※成熟度チェックリストは、100年企業創り合同会社と共同開発した診断・支援メニューです

EMEが追い求める企業像

- ◎ ワクワクする企業とは、会社にも、社員にも夢のある企業です。
- ◎ ワクワクする企業とは、夢と夢が融合して、大きな付加価値を生む企業です。
- ◎ ワクワクする企業とは、社会から尊敬される企業です。

ワクワクする企業の5つの特徴



EMEでは、中堅中小企業における「経営者と社員と社会がワクワクする企業」創りを支援します

詳しくは

イーエムイーコンサルタンツ

EME

EYES for MANAGEMENT ESSENCE
EME CONSULTANTS CORPORATION

イーエムイーコンサルタンツ株式会社

〒569-0803

大阪府高槻市高槻町19番2-301
TEL 072-686-6592 FAX 072-686-6593

<http://www.emejp.com>

info@emejp.com